

いただいたご意見やいただいたご意見からヒントを得た施策の紹介

広報

- 広報つるみをスマートフォン等でみてもらえたらいいのでは？
 - ・ 毎月1日の発行日には、ツイッターやフェイスブックで広報つるみの発行・デジタルブックのリンク先のお知らせを始めました。



区広報はデジタルブックでも
ご覧いただけます。

- 広報つるみをまちのあちこちでみられればいいのでは？
 - ・ 広報紙設置施設の追加をすすめます。
(平成30年度鶴見区運営方針(案)へ反映)

- 一般の人にも動画の作成を募ってみてはどうか？
 - ・ 区役所職員(有志)により動画を作成し、YouTubeにより配信しています。
 - ◆ 知っているとお得! 証明書のコンビニ交付
 - ◆ 鶴見区親子でおでかけ情報
 - ◆ 鶴見区民まつりレポート
 - ◆ まちの支えあい活動「あいまち」



- Facebook、Twitter など SNS を活用した情報発信ツールはたくさんあるが、若い世代に鶴見区のことを知ってもらうのに有効な手段を考えるべきでは？

- ・ LINE スタンプを製作することによって、高校生などの SNS 世代がつるりっぷを身近に感じ、区への愛着を深めるきっかけとなるのではないかと考えた。



区内の大阪市立鶴見商業高等学校生徒の方々のアイデアにより、「高校生が家族・友人間で使いたい」をコンセプトに協働で制作しました。

- つる魅力検定を実施するのなら、未来を担う子どもたちが、住んでいる区について自ら学ぶ機会として、小学生にも受験できる仕組みを考えてはどうか？

- ・ 小学生向け「つる魅力検定」を実施しました。(302名参加)

合格者には「つる魅力士」の称号を！！



地域福祉

- 地域への行政からの支援について、地域活動支援課のみでなく他課や社会福祉協議会、まちづくりセンターなど横断的に行っていく必要があるのでは？

- ・ 地域活動支援施策と健康福祉施策との連携を強化し、よりきめ細やかな対応を行うため、「地域健康福祉戦略会議」を、区長直轄のもと創設しました。

- 地域活動の新たな担い手を確保するためには、子育て層にも参加してもらえるイベントを実施し、地道に声かけ等を行うことにより地域活動に踏み出すきっかけ作りをしていく必要があるのでは？

まずは、地域活動協議会の活動を知ってもらいたい！！



TSURUMIC AWARED
~広報デザイン賞~

地域活動協議会の広報力および認知度の向上をめざし、各地域活動協議会が発行する地域広報紙の最新号を区役所「鶴見区地域活動協議会情報コーナー」に掲示、来庁した区民による投票等により、最優秀賞等を選出し成果を讃える。

子育て

- 保育園の情報の公開や、人気の高い保育園へ寄せられているニーズを分析して保育要求を分散させる等、区民に見える形で動いていく必要があるのでは？

家庭に一番あった保育施設を選択しやすくするため、施設への相談や情報の入手できる「幼稚園・保育所等情報フェア」を開催。

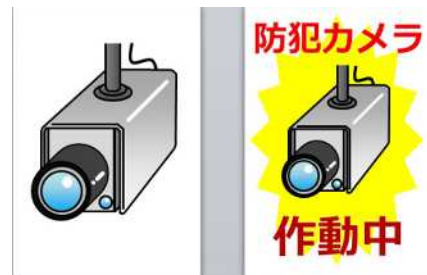


幼稚園・保育所等情報フェア

防犯

- 防犯カメラの効果の向上を図るため「防犯カメラ作動中」という表示を目立たせてはどうか？
 - ・ カメラ 1 台につき 1 枚設置していた「防犯カメラ作動中」のプレートについて、複数枚取り付けすることで、より効果があがることが予想される場所へ取り付けます。

30 台の防犯カメラの設置に加え、「防犯カメラ作動中」のプレートを 50 枚取り付けます。
(平成 30 年 3 月実施予定)



- 区をあげて防犯活動に取り組んでいるということを横断幕やのぼりなどでPRをしてはどうか？
 - ・ 区役所正面玄関前の照明灯に、昨年度区内中学生の皆さんから応募いただいた防犯標語など（7 種類）防犯に関するバナーを設置しました。

(中学生標語)

- ◇ 「こんにちは」その一声でも抑止力
- ◇ 地域との団結力で防犯だ



万博のPRにも一役かっています！